



重誓寺報

第4号 平成19年5月

私のお墓の前で泣かないで
ください

そこに私はいません

眠ってなんかいません

千の風になって・・・

昨年、秋川雅史さんが歌わ
れて有名になった詩です。

阿弥陀如来は、生きとし生
ける者を救うために、南無
阿弥陀仏の中にその功德を
満たし、私たちに働きかけ
てくださっています。

親鸞聖人は教行信証と
いう書物の中で、往相、還相
という二種の廻向があると
おっしゃっています。

私たちを仏さまの功德によつて浄土へと
導く働き、これを往相廻向といひます。

また、浄土に往生し仏となつてからも、
再びこの世に還り来て、迷う私たちを救
う働き、これを還相廻向といひます。

先立つた方たちは阿弥陀さまと同じ
廣大無辺な大悲の風となり、智慧の光と
なり、そして南無阿弥陀仏の声となつて
私たちを呼び続けられています。

私たちの周りに、何気なく吹く風のように
に、常に振り向けられてゐる仏さまや先
人の廻向に感謝し、お念仏の生活を送ら
せていただきたいものです



法座の御案内

重誓寺では毎月法座が勤まります。

椅子席もありますので、どうぞ皆さま

ご一緒にお勤め、お聴聞いたしましょう。

毎月 昼二時、夜七時三十分より

・四月二十日

常例法座

講師 藤岡 良治 師

・五月二十日、二十一日(二十一日は昼のみ)

宗祖降誕会法要

勤行 昼 教行信証 夜 正信偈

講師 高澤 正文 師



・六月二十日

常例法座

講師 平戸 昭乗 師

・七月二十日

常例法座

講師 森田 浄心 師

・八月二十日

常例法座

講師 石川 欣也 師

常例法座の勤行は、

昼 阿弥陀経 夜 正信偈

以降は追って御案内いたします。

浄土真宗の基礎知識

お経と言えれば何を思い浮かべるでしょうか。「三部経」や「正信偈」、また「般若心経」などがよく知られていますが、真宗では般若心経はお勤め致しません。また三部経というお経がある訳でもありません。

そもそもお経とはお釈迦様の言葉を書き留めたもので、仏様の教えであります。

真宗では、「仏説無量寿経」、
「仏説観無量寿経」、
「仏説阿弥陀経」

の三部経を根本教典とし、また浄土教の流れを引く七高僧、親鸞聖人などの書かれたものをお経として用います。

正信偈は親鸞聖人が書かれた教行信証の教巻にある偈文（詩）であります。

三部経は全て読むと丸一日かかるほどで、現在読まれているものは要所だけを抜き出したものです。

般若心経はたいへん立派なお経ですが、阿弥陀さまやお浄土のことが出てきません。浄土真宗のお勤めは、阿弥陀さまのお徳を讃え、帰るべき故郷であるお浄土を偲ぶために行うものです。ですから肝心な阿弥陀さまとお浄土が出てこないお経は読まないのです
毎日、少しずつでも結構ですから、是非ともその教えに合ったお経をお勤めするようにしましょう。



重誓寺落語会

平成十九年五月二十一日(月)

午後七時開演(六時三十分開場)

重誓寺本堂にて

出演・演目

桂 小春團治

「高津の富」

桂 勢朝

「桃太郎」

桂 吉之輔

「犬の目」

三味線

花登 益子

皆様お誘い合わせの上、
お越しく下さい。

入場無料



今年も旭区
仏教会では
4月8日、
「花まつり
こどもパレ
ード」を開
催しました。
本年は千林商店街を中心にパ
レードしました。日曜日でも
あり多くの方々に参加いた
だき、お釈迦様のお誕生日をお
祝いいたしました。



重誓寺境内でも
手作りの誕生仏
をたくさんの花
で囲み、皆様に
ご覧いただきま
した。

浄土真宗 本願寺派(西本願寺) じゅうせいじ 重誓寺

大阪市旭区中宮2-4-19 電話・FAX 06(6951)0090

<http://park6.wakwak.com/juseiji/>